



夏休みまで あと13日

今年の6月も毎年のことながら様々な出来事が盛りだくさんなひと月でした。振り返って見れば、激しい傷跡を残すこととなった台風6号の到来で、修学旅行の前日は臨時休校となりました。この日は京都の宿泊先へ送る荷物の搬入日のため、3年生と保護者の方々は、休校日でありながら朝早くに来校されました。この日に予定していた前日指導は急遽 Online での実施となり、目の前に生徒の姿がない中で話をするのは、やはり一方通行の感が強く、物足りなさというか味気無さを感じたことを思い出します。

何にしても今年の3年生、修学旅行中は三日間とも天気に恵まれました。台風が去った直後にもかかわらず、気温も30度以下にとどまり、若干蒸し暑く感じられたのは、最終日だけのように記憶しています。

さて、今年の修学旅行、最初に訪れたのは、東塔と西塔の、二つの三重塔が聳え立つ奈良県薬師寺でした。そして今年の旅館は「三木半」。旅館の名前までも「三」に縁のある今年の3年生です。生徒200名に全館を貸し切っていただき、快適に過ごすことができました。印象に残っていることはたくさんありますが、まず一つは、食事の会場です。畳敷こそ聞きそびれてしまいましたが、これでもかというくらいの広い部屋にも

Guess who they are!



各クラスから1名ずつ 能面をまとう体験 女子は1名

関わらず、所狭しと全員が座って、仲良く向き合っているのが会食です。生活が西洋化してきて、自宅などでもイスでの生活に慣れてしまっているように見受けられ、これも普段と異なる、日常にあまりない経験として捉えた生徒もいるように感じられました。

順序が逆になりますが、初日の東京駅での新幹線出発の際には、ある一般乗客が間違えて修学旅行専用列車に駆け込みで乗り込んだことで発車時刻が一分遅れましたが、なぜかしら京都駅には一分早く着くという、中々ない経験をしたことも書き記しておきたいことの一つです。

とにかく三日間を通してとても楽しい思い出を心に刻んだ3年生、気持ちを切り替えて、1・2年生ともどもに翌週の生活に臨みました。壮行会、水泳と陸上を皮切りに始まった総体、中間テスト。さらには、天候がすぐれないということで二日間延期をして実施した、80周年記念行事の一つとしての航空写真の記念撮影もあり、本当に息をつく暇もないほどの日々を過ごした今年の6月でした。

いよいよ7月です。今年はまだ蒸し暑い夏の訪れが遅れているのが幸いですが、多分、あの酷暑とも呼べる「灼熱の夏」の到来はそう遠くないのかもしれませんが。健康管理に気を配って、夏を充実させましょう。



智仁武勇



生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時空人の間を燦々と照らして よりよき今をともに創らん

中学校生活にも慣れ、1年生は初めての中間テストに向けて意欲的に学習しています。授業では真剣に話を聞き、朝読書にも落ち着いて取り組んでいます。また、自主学習を継続して提出する生徒も多く、家庭学習の習慣も身に付き始めています。日々の積み重ねを大切にしながら成長してほしいと思います。



6月4日（木）、5日（金）、6日（土）に、3年生は奈良と京都にて、修学旅行を行いました。東大寺の大仏、京都の金閣寺や北野天満宮など、様々な文化財に触れるなかで、子どもたちも日本の歴史や伝統について深く知ることができました。また、友達と協力しながら、集団行動をしていくなかで、責任感や協調性の大切さについても学ぶとともに、友達同士の絆を深めることができました。今回の修学旅行で学んだことを、今後の生活にも生かしていただきたいと思います。

6月5日、2年生を対象に「ゆかた体験教室」を開催しました。地域の着付け講師の皆様をお招きし、ゆかたの着方や、着たときの美しい立ち居振る舞いについて学びました。初めは「袖が長くて動きにくい！」と苦戦していた子どもたちですが、丁寧な御指導のもと、最後は全員が素敵に着こなすことができました。教室が一気に華やかな雰囲気に包まれ、お互いのゆかた姿を見せ合いながら、日本の夏ならではの情緒を楽しそうに味わっていました。

